

令和4年度 運営推進会議を活用した外部評価
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員採用時に管理者より理念を説明。 理念は、職員の見える場所に貼りだし、地域の方との交流を意識し実践に繋げている。また、ユニットで取り組んでいきたい目標を掲げ、日々のサービスに取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出勤時、退社時のあいさつをし、日常的に交流すると共に、運営推進会議には民生委員の方に参加して頂いている。	コロナ過でもあるが、近所の人との会話などされており、交流していると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度1回は紙面開催となったがその後は少人数で行う事ができ、普段の様子をお伝えすることができた。利用者様の日常の様子や介護度、日々行っている取り組み状況等報告し他の施設の取り組みや、アドバイスを頂きサービス向上に努めている。	運営推進会議にて、各ユニットにどんな方がいて、認知症の対応などどのようにされているかが紙面でもよくわかります。みんなが良くやっているといます。ユニット同志の協力なども見られます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	介護相談員2名の定期的な来設は昨年度は中止となる、運営推進会議や防災訓練への参加も中止となる。相談事などは電話にて行っている	GH 管理者会などを開催し、可能な限り集まって各 GH の問題点や、運営についての意見交換等行っています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中、身体拘束となる玄関の施錠は行っていない。夜間は外部からの侵入等の防犯、安全確保の観点で戸締りとして施錠している。また、日常のケアで身体拘束に繋がる危険がある時は、職員で注意も行っている。スタッフ会時に身体拘束委員会を開催し、確認と検討会を行う。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の取り組み内容にて身体拘束についての検討会も行い報告しているので出来ていると評価します。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員間の報告、利用者の身体チェックや訴えを見逃さないように注意し日々のケアにおいて虐待を見逃していないか検討し防止に努めている。また定期的に勉強会を開催している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員会で情報を共有しており、運営推進会議での報告などもあるので、充分出来ていると評価します。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用している方がいるが、制度については理解できているスタッフは少ないと思える。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が契約時や改定の際には書面に沿って理解を得られるよう十分な説明を行い、同意をもらっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昨年度は入居者の運営推進会議への参加はご遠慮いただいている。日常のかかわりの中での要望はお聞きしている。また家族会の開催も中止しているが家族の要望などは電話でお聞きしその要望に添えるよう支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ過となり、ホームに集まる事ができにくくなりましたが、こうやって少ない人数でも集まって運営推進介護を開催しているので出来ていると思います。以前のように入居者さんを見る事が出来ないの、中の様子が解らないとは思っています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会で意見や提案を出す機会を設けている。また、提案事項に関しては検討し反映できるよう努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	考課表等を基に昇給・賞与制度や準職員登用へ繋がり待遇面へ反映されている。有資格者は、正職員への雇用となっている。また処遇加算も条件に合わせて職員の給与に反映している。有給休暇も全体で取れるように取り組みリフレッシュできるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が辞めていってないので、働きやすい職場ではないかと思っています。有給などもみんなで協力して取得している様でいいと思います。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画が作成し1年を通して必要な研修を内部研修にて受けようにとりくんでいる。また、法人外研修はコロナ渦でもありオンラインの希望者優先参加をして頂いている。その後は事業所内の内部研修でフィードバックしていただき施設全体で向上できるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月研修をしていると運営推進会議の報告でありますので、充分取り組んでいると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が同市での GH 管理者会や地域ケア会議には積極的に参加し、他事業所の方との交流機会を作っている。得た情報をスタッフ会などで職員に伝えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ごとに自分らしく生活できる場を目指し、個々の介護レベルや性格を理解し支援・介助し支え合う関係を作るため、できる家事は行って頂き入居者と職員がお礼を言い合う等良い関係が気づけていると思います			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦の中で馴染みの場所などへの外出は制限されているが感染状況を見ながら、玄関先で短時間の面会を許可する事もある。又看取りの方は、家族さんの聞き取りを行い、十分な感染対策物と短い時間面会する事もある。家族と電話をしたり、オンラインでも面会をされている家族さんもおられる。	できる範囲でやっていると思います。看取りの方も希望あれば、ホームの方と最後まで過ごせるよう支援できている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いが聞ける方もいるが聞けない方もいるので全員の把握は出来ていないが、話ができる方には本人に要望を聞きその人の意向の把握に努めている。また、家族さんに聞き取りを行っている。			
----	----------	--	--	--	--	--	--

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリング月に家族に連絡し状態を報告、ケアに対する意向や希望をお聞きしケアプランへの反映をしている。また、入居者個々のレベルもあるので職員同士で話し合い取り組んでいる。	一人一人のケアの内容を考え、ケアプランを作っている。担当同士で意見を出し合って取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族さんに、電話にて聞き取りを行い、ケアプランへの希望をお聞きし、職員同士でも話し合って評価しケアプランを作れていると思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に毎日ケアプランを行い職員間で共有、評価をして見直している。変わったことがあったら、その都度話し合いをして介護のやり方を変えている。朝夕の申し送り、連絡帳の使用、記録の記入を行い情報共有行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランをもとに、ケアに取り組んでいると評価します。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人を支えて柔軟なサービスや多機能化に取り組んでいる。県外や高齢等の理由で受診対応ができない家族さんは代わりに受診対応行う事もある。	ニーズに対して、ホームで出来ると事に取り組んでいる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源は把握しているが、感染対策で施設外に出ていく事が無くなった為支援不足である。コロナ禍前は法人内の他事業所に訪問に行ったりし知り合いに会ったりしていた。	地域資源は今は、支援できにくいと思いますが、できる様になったら支援していくようにして下さい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月2回の訪問診療、3ヶ月毎の定期受診、体調不良時にも対応できている。 クリニック以外の受診は家族さんに対応お願いしている。受診結果はクリニックと共有している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院関係者と情報交換や相談を行い、病状の把握をしたうえで、退院の調整を行っている。 主に管理者対応入院時の病院との情報交換を行っているが管理者不在の時は職員が代わりにやっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された時、病院との調整を行い、家族も一緒に考えて方向性を決めているので、出来ていると評価します。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>高齢でもありますので、身体の状態に変化がみられた場合は、医師に相談し、家族さんに看取りについての話をを行う。医療設備はホームには無いので訪問看護、酸素投与などできる事は限られていることなどの理解を得る。</p> <p>終末期ケアの在り方について・管理者や職員で集まる場を設け、内部研修を行い、意見や要望を共有している。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>馴染みの場所で、最後を迎える事が出来る様にとR組まれていると思います</p> <p>自宅が一番と思いますが、病院よりは、ホームの方が良いと思います。</p>
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	AEDの訓練を定期的に行っている。内部研修、勉強会で繰り返し学んでいる。緊急時には慌てる事もあるが概ね対応が来ている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>定期的に訓練が出来ている。火災、津波、土砂災害まとめ避難訓練を2カ月に1回行っている。以前は近所の方や運営推進委員に参加を依頼していたがコロナ過であるため最近はない。</p>	津波・土砂、を日中、夜間の設定で行い、課題を見つける様にしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告で、定期的に、訓練を開催している事が解かります。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>声のかけ方や、タイミング等に充分配慮した声掛けを行い対応している土佐弁など馴染みの声掛けになる事もあるが、第三者が聞いても気にならないような言葉がけをするよう実践している。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>言葉の捉え方は難しいと思います。中の状況を聞く事が出来ませんが以前訪問していた時に、入居者との関係性が良かったので出来ていると評価します。</p>
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>パーソンセンタードケアをユニット目標に掲げ実践している。体操時や、レクを行う際には、殆どの方は参加されるが、自室で過ごされる方もおられ、無理なお誘いはせず、好きなように過ごしてもらっている。</p>			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体レベルの低下もあり一緒に調理を行えないユニットもあるが、できる方には一緒に下さりえ、配膳、食器洗い等、して頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る家事への参加をされているとの事で役割があつていいと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は摂取形態など個人の嚥下状態に応じて、提供し、トータル水分量が確保できるよう提供を行っている。食事が少ない方には補助食を食べて頂いている。又水分もお茶ゼリーや、トロミなど使用し飲みやすいように工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアの声掛け行い、ご自分で出来ない方は介助で歯を磨いている。利用者によっては拒否もあり十分な口腔ケアが出来ない事がある。義歯は、毎日預かり除菌剤に入れるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の記述をもとに出来ていると評価します。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間を見てのトイレの声掛けや便秘の方には腹部マッサージ、運動の声掛けを行っている。緩下剤での排便コントロールや排泄間隔に応じたトイレ介助出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価がBとの事で、まだまだなところもあるのかも感じています。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員不足により、決められた時間・曜日に設定していることがある。午前中に入浴が難しい方には、入床前に入浴できる様取り組んでいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夏場や冬場は、エアコンの設定温度も考え、巡視時には体位変換や除圧を行っている。また日中、座位の保持が難しい方、疲れている時や体調不良等の時は、自分の部屋でやすまれている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬や飲み忘れ予防の為、薬置き場も個々に分けて作成し、服用時には職員間で確認作業を行っている。全員分の薬の把握は出来ていないが処遇記録に内服薬の情報を入		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告で、薬のセット間違いや、誤薬などの報告もあつたため、これからも間違いがないように取り組んでいって欲しいと思います。

				れ、薬の変更などあった時は、服薬情報を見て確認している。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクの時間は、回想法を使用したクイズやちぎり絵が得意な方には製作を行えること、家事活動が得意な方には、できることをしてもらっている。また、誕生日会、お楽しみ昼食、おやつ作り等行っている。	喜んでされるレクを提供している。コーヒーの好きな人は飲めるように、苦手な人は代替りの物を提供している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策で地域・家族間との協力支援ができにくい状況である。コロナ過であまりいけてないがドライブや密集していない場所に行きそこでおやつを食べるなどしている。	いけるタイミングを見つけて感染対策しながら、ドライブに出掛けているので良いと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身での管理が難しい為、ホームで管理し必要な物や飲みたい飲み物等購入している。家族さんの理解の元、ご自分の財布に少額持っている方もおられる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ず日曜日の午後に家族さんから電話連絡がある方がいます。利用者さんからは電話の要望は無いが家族さんから電話あれば対応している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日施設内掃除行い、入居者同士のトラブルがないよう、机の配置に気を付けている。 ホーム内の老朽化が目立ってきているが、目印等つける事で注意を促している。 季節感が味わえるような壁面や廊下も楽しめるような壁面を飾っている。 個別にはトイレの場所がわかるようなプレートを設置したりしている。	①A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来れば修繕すると事は修繕をした方が良いと意見します。が、補修などもあるかと思しますので、十分に注意して下さい。 自己評価で、壁面なども取り組んでいるとの事で、出来ていると評価します。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	各自の思いはあるもののコロナ渦の為、外出を希望される支援などは出来ていない。自室でゆっくり過ごされる方や、ホールでテレビを見ながら談笑されたりしている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの情報は得られない場合があるが、家族からの情報により、ケア・支援を行っている。以前は友人の面会に来られていたがコロナ渦で出来ていない。家族からの情報や、聞き取りによりプランを作り支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チーム内で情報共有し状況観察をもとに実践している。 毎日のバイタルチェック行い、月2回の訪問診療や、週1回の医療連携実施し、報告行い、情報を共有しそれぞれ支援を行っている。 何かあれば家族さんに報告するようにしている。		A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告で、体調不良に気づいている事や、ヒヤリハット報告などで上表を共有している事を踏まえ、よく観察出来ていると評価します。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設や職員のペースもあるのでできている部分とできていない部分がある。 業務主体にはせずなるだけ希望に添えるよう出来る範囲で実施している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの家具などを持ってきて自室に置いている。 紛失の恐れがあるものは職員が管理している		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	TVを居室で楽しんでいる方も居れば、馴染みの物を持ち込めていない入居者の方、居室に置けない方などいるため、ほぼ出来ていと評価します。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋外は感染予防の為不可。屋内での催し物には積極的に声掛けし参加されている。	希望があれば十分に話し合っ感染対策しながらお葬式に参加された方がいたとの事で、細かな約束を決めてできる限り対応されていると思います		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの方に合った家事や、ちぎり絵等をお願いしてやってもらっている。 その方にあつたレクや役割を提供している。家事が出来る方には食器洗いや洗濯量などして頂いている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションは良くとるようにしている。反応が無い方もおられるが会話の中で笑顔を引き出している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの中で、またコロナ過でもあり、出来る支援が限られていると思います。ホーム内で出来る事をされていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知度や身体機能の低下の度合いにより、ホーム内での人間関係交流はスムーズに行えているが、近隣・地域交流はない	コロナ過で、ユニットの交流もためらうことがあると思いますが、できそうな時には、一緒に過ごせるレクを、されています。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の声掛けや観察力の向上で、安心・安全な日常を提供できている。 この3年は地域との交流は出来ていないが職員との信頼関係はある程度築けていると思う。	職員が意見を活発に出し合い、入居者が安心・安全に過ごせるように支援されています。職員も誰もやめないで、長い付き合いの方がいて人間関係が良いように思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が辞めずに、馴染みの関係性が出来ていると思います。地域との交流ができていくのですが、ホーム内で出来る事はされていると思います。